愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	世界の芸術		
担当者(Instructors)	長谷川 潤子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

芸術の中でも美術の分野をテーマとする。 実際に手を動かして、足を運んで、目で見て芸術を考える。具体的には、以下の4課題で構成する。課題A：写真で表現から作品制作→　身近な写真の手法から、効果的な表現方法を考えてそれぞれが絵画作品に展開する。 課題B：美術の歴史を考察してクラスでまとめて共有する。 課題C：美術の鑑賞　実際に美術館鑑賞しレポートにまとめる。 課題D: グループで３つのテーマから興味を持った方法を選んで作品か研究、プレゼンする。 芸術を『知る』『感じる』『つくり、発信する』深く関わるきっかけすることを目的にする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	各回（または単元）ごとに、３つの構成 1：解説、講義 説明 　テーマ作品の鑑賞 製作の時代、技術、構成を講義する。 2：提案または製作 　絵画表現の体験 をする。鉛筆で描く作品制作のための練習ドリルまたは、プリント等使い同じテーマでの表現方法の提案。 3：まとめと発表、次回の授業内容の準備 　(1) 調べてまとめる (2) 提出課題と感想提出で、考え方や各自表現の方法　工夫をクラス全体で共有。 授業は基本的に全て対面授業。 時間の始まりに出席確認します。 また初回授業から出席確認します。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	授業の説明	15回の授業の内容を説明と授業の進め方についての説明サンプルの写真作品をつくり投稿の方法などルール確認。	□
第2回	写真で表現　構図ー作品制作（1）	1.サンプル写真をもとに課題説明 2.テーマにあった写真撮影する。 3.作品練習1	□
第3回	写真で表現　素材感ー作品制作（2）	1.学生の作品発表。数人の学生作品を取り上げて参考になる絵画やデザイン、写真作品やを紹介。 2. ブラッシュアップの方法を考えて再度撮影、再投稿 3.作品練習2	□
第4回	写真で表現　光と影ー作品制作（3）	1.学生作品の発表と講評会 2.写真から素描作品① 3.作品練習3	□
第5回	美術の歴史（1）	1.一つの作品（または作家）について理解を深めるためのアプローチ、解説。 2.作品練習4	□
第6回	美術の歴史（2）	1.NHKびじゅチューンの動画を使用。興味のあるテーマを選び鑑賞、感想と作者などについて調べ考察をまとめてレポートを作成する。 2.作品練習5	□
第7回	美術の歴史（3）	1.まとめた資料を、グループにプレゼンテーション。 2.写真から作品を製作	□
第8回	美術の鑑賞(1)ー美術館鑑賞レポートのために	美術館を楽しむための手引き。また美術館の役割と鑑賞のルールも説明する。	□
第9回	美術の鑑賞（２）実習 〈日程変更の場合があり〉	個人で美術館で展覧会を鑑賞する	□

第10回	美術の鑑賞（３）ー美術館鑑賞レポート共有	1.レポートをMicrosoft teams共有 2.素描作品完成 2点を提出 （中間採点） 3.選択課題攻略のための説明。	□
第11回	美術の歴史またはデジタル作品 グループで共同製作(1)	1. グループワークのメンバーとテーマを決める 2.デジタル作画アプリの使い方 プレゼン用の素材まとめの体験	□
第12回	選択課題制作（２）分担	選んだテーマを進める。 （個別にアドバイスタイムをつくる）	□
第13回	選択課題制作（３）資料作成	選んだテーマ制作。 ブラッシュアップ	□
第14回	選択課題制作（４） プレゼンテーション	選択した課題の提出と発表 授業で作ったものすべて共有（データ）	□
第15回	講評採点	展示、講評と交流 学生同士で作品やレポートについて交流評価	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

1、各回最後に次の課題を説明。資料を配布またはデータ掲示するので準備して、自分の考えをまとめておく。 考察や写真資料を授業の教材とするため指定日までにLMSにあげる。 2、授業内で完成できなかったワークシートの仕上げ またはブラッシュアップ。 (30分から4時間) ・課題レポートは授業内でも構成時間を設けるが、 ・3回目の授業時にすべての資料を配布する予定なので自分のペース進めることもできる。 画材等の準備（初回説明）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業準備した内容（写真など）は、できるだけ話し合いの材料として全体で共有する。レポートは一部データで公開。 作品は学内にて展示を予定。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	**◆ 2019全学共通DP1**	作品を実際に製作する事で今まで理解しがたかった芸術作品や 作者に対して接点を見つけだして、自分の言葉で意見が言うことができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

(1) 写真と素描作品20%、 (2) 美術の歴史 グループ20% (3) 美術館レポート20% (4) 選択研究作品40% 【4点指定日まで提出必須】

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし（資料と練習ドリル配布）	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		

4		
5		